

平成19年度「鎌ケ谷市健康づくり推進協議会」会議録

日 時：平成19年7月31日（火）

午後1時30分～2時30分

場 所：総合福祉保健センター 3階 デイケア室

出席者：出席委員 中井委員 古池委員 高地委員 和田委員 菅村委員
福留委員 濱田委員

欠席委員 石川委員 小川委員 小倉委員

事務局 岩佐健康管理課長 木暮補佐 小山予防係長

山崎主査 森谷主査 米井主任保健師

傍聴者 なし

会議内容

1. 会長挨拶
2. 委員紹介
3. 議事

協議会設置要綱第6条により、会長が進行

議題（1）「2007かまがや福祉健康フェア」への参加について

（事務局） 別添資料（P2～3）説明

健康づくり推進協議会参加内容の全体像は「メタボリックシンドローム予防」

（議長） メタボリックシンドロームの切り口で啓発するということですが、ご意見、ご質問がないようなので事務局案のとおり実行してよろしいでしょうか。

（委員） 意義なし。

議題（2）「鎌ケ谷市母子保健計画」の中間評価と今後の推進について

（事務局） 別添資料 鎌ケ谷市母子保健計画の中間報告書について説明

（議長） ただ今の件についてご意見、お願いしたいとおもいます。

（A委員） 保育園におけるフッ化物洗口事業について、効果については新潟の方でも大規模な研究があります。また、厚生労働省からは安全性について意見が出ています。

鎌ケ谷の有効性はまだ出ていませんが、いい結果が得られればと思っています。もっともっと普及されると良いと思っています。

(議長) ヘルスサポーターの養成について、いかがですか。

(B委員) 鎌ケ谷の場合、中学校5つを対象に実施してきました。主に、「朝食をしっかりとりとう」ということでやってきましたが、意外とみんな食べているという印象です。参加者は聞いているのかわからないような様子もありましたが、しっかり感想は書いていました。今後成長していく中で、生かしていってもらえればと思っています。2学期終わりの土日に実施しています。1回登録した人の再登録はありませんので参加者数と登録数にずれがあります。これからは長くやっていければいいと思っています。

(議長) 食育は最近いろいろな勉強会で取り上げられる話題です。中学生は生活習慣病の予備軍でもあります、その辺でご意見ありますか。

(C委員) 食育は各学校ですすめているところです。きちんとした食育がなされていないと、学力の低下につながるというデータもあります。保護者と連携とりながらやっていきたいとおもっています。

(D委員) 夏休みの学童でお弁当の発注の要望があります。保護者の中にはお弁当を作る事を使命としている人もいますが、お金を持たせて子供に買わせる人もいます。保護者会を通して伝えていますが難しい部分もあります。

ほかの事での意見になりますが、次世代育成支援法による少子化防止の施策が進む中、鎌ケ谷こどもサポートプランを進行管理していく中で、見直しも必要となっています。母子保健計画の6, 8, 11, 13, 14ページに関して、協議させてもらいたいと考えています。

(議長) 中間評価の中で具体的な目指す姿についてグループワークされたようですが、ご意見いかがですか。

(E委員) 30人の委員で親のゆとりが子のゆとりになるということでゆとりある子育てをするにはどうしたらよいか話し合いました。

(議長) 保健所としての計画の推進等についての支援についてご意見頂戴できますか。

(F 委員) 保健所としては特に個々の市への支援というより地域を見ています。

(議長) 他にご意見ありますか。

議題 (3) 「その他」について

(事務局) 別添資料 (P 5 ~ 6) 説明

現時点での鎌ヶ谷市の状況につきましては、ここでお示しする段階まで検討が進んでおりません。本日は国のほうで制度として変わることについて説明します。

老人保健法による健診ではなく、医療保険者による特定健診と特定保健指導という形になります。

がん検診は法律に基づかず、市独自の事業として実施していくことになります。

(議長) 特定健診、特定保健指導については各保者が行うことになります。会社員の妻は会社でやってもらえるのか等、問題があるところです。健康管理課がやっていた部分を国保がやることになります。国保、健康管理課、業者間で連携をとってやっていく必要があるでしょう。

他に何か、ご意見ありますか？

(議長) ご意見無いようですので、これを持ちまして議事終了といたします。

閉会